

第4章	教育機関	52
1	市川市生涯学習センター（メディアパーク市川）.....	53
2	市川市教育センター.....	55
3	市川市立図書館.....	58
4	市川市公民館（社会教育課）.....	65
5	市川考古博物館.....	68
6	市川歴史博物館.....	70
7	市川自然博物館.....	72
8	市川市少年自然の家.....	74

1. 市川市生涯学習センター

(メディアパーク市川)

〒272-0015 市川市鬼高1-1-4 (中央図書館)

TEL 047-320-3346(代表) FAX 047-320-3351



特色

市川市生涯学習センター（メディアパーク市川）は、市制施行60周年に合わせ平成6年11月、市民の生涯学習を支援する拠点として開館した。

本センターは、視聴覚資料・点字図書・大活字本など78万点を備えた「中央図書館」、グリーンスタジオ・ベルホール・資料室等を備えた文学と映像を活動の基盤とする「文学ミュージアム」、教育相談や研修が行われる「教育センター」、子ども達が遊びを通して感性や創造力を育てていく「中央こども館」、青少年の健全育成のための補導活動や少年相談業務を行う「少年センター」がある。

「読む」「見る」「聞く」「学ぶ」「遊ぶ」が一箇所のできる、新しいタイプの生涯学習施設である。

沿革

- 昭和63年4月 中央図書館等複合施設建設検討会設置
- 63年7月 ワーキンググループ設置
(基本計画案検討)
- 63年10月 中央図書館等生涯教育センター建設準備委員会設置
「仮称メディアパーク市川建設基本計画」策定
- 63年11月 用地取得

- 平成元年7月 「仮称メディアパーク市川建築計画書」策定
- 元年10月 競技設計実施
- 2年7月 基本設計完了
- 3年3月 実施設計完了
- 3年12月 着工
- 6年6月 竣工
- 6年11月 メディアパーク市川開館

利用

○開館時間

- ・中央図書館
 - 火曜日～金曜日 10:00～19:30
 - 土・日曜日・祝日 10:00～18:00
- ・こどもとしょかん
 - 火曜日～金曜日 10:00～18:00
 - 土・日曜日・祝日 10:00～17:00
- ・中央こども館
 - 火曜日～金曜日 10:00～18:00
 - 土・日曜日・祝日 10:00～17:00
- ・文学ミュージアム
 - 火曜日～金曜日 10:00～19:30
 - 土・日曜日・祝日 10:00～18:00
- ・文学ミュージアム資料室
 - 火～日曜日・祝日 10:00～17:00
- ・教育センター
 - 研修担当：月曜日～金曜日 10:00～17:00
 - 相談担当：火曜日～土曜日 9:00～17:00
- ・少年センター
 - 電話相談：月曜日～金曜日 9:00～17:00
(木曜日のみ) 9:00～19:00
 - 面接相談：月曜日～金曜日 9:00～17:00
 - eメール相談：24時間

○休館日

- ・月曜日
- ・年末年始 (12/28 ～1/4)
- ・館内整理日 (土・日を除いた月末)

施設

1. 概要

敷地面積 11,012㎡ 構造 鉄骨鉄筋コンクリート造(地下1階、地上3階 一部4階建)
 建築面積 6,164㎡ 延床面積 19,647.79㎡ 総工費 125億 1,600万円

2. 施設案内

1階	中央図書館	5,943㎡	・開架フロアを一つにまとめ、小説・参考図書類を配架する ・収蔵能力100万冊 ・他に新聞、雑誌、ビデオ、CD、DVDを置く
	こどもとしょかん	468㎡	・児童図書及び児童文学研究に関する本をそろえる ・おはなし室、くつろぎ広場（じゅうたんコーナー）
	中央こども館	1,655㎡	・遊びを通して子ども達の健全育成を図る ・造形スタジオ、プレイルーム、陶芸室、集会室
2階	文学ミュージアム	2,770㎡	・最大260名収容のグリーンスタジオ ・46人収容のベルホール ・文学、映像に関する企画展の開催・映像編集設備・文学研修室
3階	教育センター	2,067㎡	・教育関係者の研修会の実施、教育に関する研究 ・来所及び電話による教育相談や、不登校児童・生徒の教室の運営
	文学ミュージアム資料室	200㎡	・市川ゆかりの文学に関する情報、資料室
	少年センター	35㎡	・計画補導、地区補導を通して青少年の非行防止と健全育成を図る ・少年および保護者等からの相談業務
4階 地下1階 その他	機械室 駐車場 共有部分	6,510㎡	・駐車場99台 ・音楽スタジオ、集会室

3. 整備機能

地下1階

- ・音楽スタジオ
（1室はドラムセット・デジタルピアノを設置、5～6人演奏練習に利用可）

1階 中央図書館

- ・ポピュラーライブラリー
- ・レファレンスライブラリー
- ・レファレンスカウンター
（調べものの相談対応）
- ・ブラウジングコーナー
（新聞、雑誌の軽読書に利用）
- ・障害者サービス室
- ・AVコーナー
- ・インターネット（IT）ブース
- ・対面朗読室
- ・シニアルーム
（研究個室、拡大読書器設置）
- ・ビジネスルーム
（パソコン・電卓持込利用可）
- ・ヤングアダルトルーム
- ・資料検索コーナー
- ・ブックディテクション
（貸出確認システム）設置
- ・相互通話補助装置（フラットループ）整備

1階 こどもとしょかん

- ・おはなし室
- ・くつろぎ広場（じゅうたんコーナー）

1階 中央こども館

- ・アスレティック・フォーリー
- ・光のトンネル ・遊環路

中2・3階

- ・閉架書庫（収蔵能力80万冊）

2階 文学ミュージアム

- ・グリーンスタジオ
最大260人収容、可動床により様々な催しができる多目的スタジオ

- ・ベルホール
- ・通常展示フロア

- ・企画展示室
- ・映像メディア編集室
- ・文学研修室
- ・アナウンスブース

3階 教育センター

- ・研修室4室 ・和室研修室
- ・コンピュータ研修室
- ・教育相談室
- ・和室相談室 ・プレイルーム
- ・ふれんどルーム市川

3階 文学ミュージアム資料室

3階 少年センター

<p>2. 市川市教育センター</p>	<p>〒272-0015 鬼高1-1-4 TEL 047-320-3335(研修担当事務室) 047-320-3336(相談担当事務室) 047-320-3345(少年センター事務室) 教育センター行徳相談室 〒272-0192 末広1-1-31 TEL 047-318-3223</p>
----------------------------	--

特色

市川市教育センターは、昭和36年に「市川市教育研究所」として設置された。昭和58年には「市川市教育センター」に改称し、機能を整備し拡充してきた。

平成6年11月に、市川市生涯学習センターの設置と同時に移転し、生涯学習の基礎を担う一端に位置づけられた。

主に市内小・中・義務教育学校、特別支援学校の教職員の研修、学校の情報化に関すること、子供や保護者からの教育相談などを行っている。教育相談の内容は、子育てに関することから不登校など学校生活に関することまで幅広く、教育に関する経験と見識を併せ持つ相談員や臨床心理士が常駐している。

沿革

昭和36年 4月 市川市役所内に市川市教育研究所を置く
 昭和37年 1月 教育相談事業開始
 昭和38年 3月 小学3・4年生用副読本「わたしたちの市川」初版発行
 昭和48年 4月 教職員等研修事業開始
 昭和49年 4月 就学指導委員会条例施行
 昭和54年 4月 教育実践記録論文「いぶき」第1回募集
 昭和54年 6月 「教育いちかわ」1号発行
 昭和58年12月 南八幡5-20-3に移転、「市川市教育センター」と改称
 平成元年 公共図書館と学校とを結ぶネットワーク事業開始
 平成 6年11月 市川市鬼高1-1-4、市川市生涯学習センター3Fに移転
 平成 6年 適応指導教室開級
 平成 8年 文部省指定「学校図書館情報化・活性化推進モデル地域事業」～10年

平成11年 文部省・郵政省指定「マルチメディア活用学校間連携推進事業」
 平成13年 文部科学省指定「次世代ITを活用した未来型教育研究開発事業」
 平成13年 文部科学省指定「学校図書館資源共有型モデル地域事業」～15年
 文部科学省指定「不登校児童生徒の適応指導総合調査研究委託事業」～14年
 平成15年 文部科学省指定「スクーリング・サポート・ネットワーク整備事業」
 平成16年 文部科学省指定「学校図書館資源共有ネットワーク推進事業」～18年
 平成18年 文部科学省指定「学校図書館支援センター推進事業」～20年
 平成19年 きらきら体験留学事業
 平成21年 文部科学省委託「学校図書館の活性化推進総合事業」
 平成22年 文部科学省委託「学校図書館の有効な活用方法に関する調査研究」～23年
 平成22年 「ほっとホッと訪問相談」指導課より移管
 平成25年 文部科学省委託「学校図書館担当職員の効果的な活用方策と求められる資質・能力に関する調査研究」～26年
 平成25年 校内LANシステム、校務支援システム、ICT機器等の導入
 平成27年 教育支援委員会条例施行

	文部科学省委託「学校司書の資格・養成の在り方や資質能力の向上等に関する調査研究」～29年
平成30年	文部科学省委託「学校図書館ガイドラインを踏まえた学校図書館利活用に係る調査研究」
令和元年 5月	教育センター行徳相談室開室
11月	校内LANシステム 機器入れ替え

施設

市川市生涯学習センター 3階 2,067㎡
(通称 メディアパーク市川)

事業

(1) 学校情報化研究事業

情報活用能力育成のために、文部科学省より示された「教育のICT化に向けた環境整備5か年計画(2018～2022年度)」等を参考に、学校のICT環境整備を進めていく。

(2) コンピュータ教育振興事業

学習の基盤となる資質能力としての情報活用能力を育てる。

・情報モラル教育を推進し、情報技術を適切かつ効果的に活用する力、情報社会に主体的に参画しようとする態度を育てる。

・小学校では、情報手段の基本的な操作能力や、プログラミング的思考を育て、さらに中学校では、生活や社会における問題をプログラミングによって解決する力を養う。

(3) 学校図書館支援センター事業

市川市教育センター内に学校図書館支援センターを設置し、学校図書館へのさまざまな支援を通して学校図書館の「読書センター」「学習センター」「情報センター」としての機能の充実・強化を図る。また、学校の教育機能を高め児童生徒の「豊かな心」と「自ら学ぶ力」を育むとともに、生涯にわたって学び続ける市民の育成をめざす。

(4) 教職員等研修事業

市川市の教職員の資質・力量の向上を図るため、市川市、千葉県、国の教育施策をふまえ、教育の今日的課題や教職員のニーズに応じた研修を行う。

- ① 確かな学力と豊かな心を育む授業づくりの研修会
- ② 一人一人の子供を理解し支援していく研修会
- ③ 学校が現在直面している課題に対処する研修会
- ④ ICTを活用した授業づくり研修会

(5) 社会科副読本等製作事業

小学校における郷土に関する学習指導の在り方を研究するとともに、副読本「わたしたちの市川」(小学校3・4年用)及び指導解説資料等の作成をする。

(6) 教育広報活動事業

① 教育委員会広報紙「教育いちかわ」発行
市川市教育委員会の施策や新しい教育情報等を市民・保護者・学校関係者に提供し、理解と協力を求める。

② 教育実践記録論文集「いぶき」

教職員の日常の教育活動をまとめた論文を募集し、論文集を発行する。優れた実践を紹介し、市川教育の向上に努める。

③ 教科書センター

各種教科書を常設し、学習指導のための資料提供や教科内容の研究等を行うことができる。また、保護者、市民にも利用できるようにすることで、教科書や教科への理解を深める。

(7) 教育情報収集・提供事業

学校要覧、教育課程編成資料、研究紀要を収集し、各学校へ情報を提供する。

(8) 教育支援委員会運営事業

(市川市教育支援委員会)

特別の支援を必要とする幼児、児童生徒の適正な就園・就学及び転学に関し教育委員会の諮問に応じ調査審議するとともに必要に応じ建議する。

(9) 教育相談事業

①教育相談

市内在住の3歳以上の幼児、小学生、中学生とその保護者を対象に、子育てをしていく中で生じるさまざまな悩みに関して、専門的知識を持つ教育相談員等が保護者との面接相談やカウンセリングを行ったり、子供とのプレイセラピー(遊戯療法)を実施したりすることで悩みの軽減や解消を図る。

②ほっとホッと訪問相談

不登校をはじめとする子育て全般の悩みに対して、経験豊かな相談員が電話相談や訪問相談等を行うことで、児童生徒及び保護者の心の安定を図る。

(10) 適応指導教室運営事業

(ふれんどルーム市川)

心理的な要因等で不登校の状態になっている児童生徒に対して、小集団での活動を通じて自己肯定感を高め、集団生活への適応力を育む等、個々の児童生徒の状況に応じた必要な支援を行う。

(11) 補導員活動事業

非行の早期発見・未然防止のため、市が委嘱した160名の少年補導員と市川・行徳両警察署の協力を得て、実施計画に基づいた市内全域の補導活動を実施する。

(12) 少年相談事業

複雑化、深刻化する傾向にある相談者の悩みやニーズに対応できるよう、電話や電子メールから、面接相談や他の専門機関などへの適切な受け渡しに努め、相談効果を高める。

(13) 社会浄化啓発活動事業

少年非行及び犯罪の発生予防を目的として、少年(青少年)に有害な社会環境の浄化・改善活動、少年の非行化防止活動、ネットトラブル防止出張授業など少年の健全育成のために必要な施策を行う。

(14) 少年センター運営協議会事業

教育委員会の諮問に応じて、少年センターの運営についての方向性等を審議する少年センター運営協議会を開催する。

3. 市川市立図書館	〒272-0015 市川市鬼高 1-1-4 (中央図書館) TEL 047-320-3346 FAX 047-320-3351
-------------------	--



図書館は、社会を取り巻く様々な課題や個人の生き方について、市民一人ひとりが興味と関心に従って自由に学び、必要な知識を得て考え、意見を作り上げるための資料・情報と学習の場を提供する生涯学習機関である。

本市の図書館の今後の目指すべき方向性については、平成26年度に「市川市立図書館運営基本計画」を策定しており、その評価を実施し公表している。本計画では、三つの柱の本に、7つの「施策の方向」を置き、それぞれに具体的な施策を位置付けている。

1. 情報拠点としての市民の学びを支える図書館
 - 1-(1).様々な市民の学習要求に応えられる、蔵書の収集と維持
 - 1-(2).図書館機能を活用した、生涯学習機会の提供と充実
 - 1-(3).関連機関とのネットワークの充実と、質の高いサービスの提供
2. 子どもの成長をサポートする図書館
 - 2-(1).発達に応じた豊かな読書のための環境整備
 - 2-(2).公共図書館と学校等との連携の強化
3. 地域の文化を育み、豊かなまちづくりを支える図書館
 - 3-(1).市川市の歴史・文化の保存と継承
 - 3-(2).行政の情報拠点としての役割

沿革

昭和		
25年	9月	創立開館 市川小学校に併設（2教室）
32年	5月	葛飾八幡宮境内に移転して独立館として新設
37年	5月	夜間開館実施
39年	3月	図書館設置条例の制定
	6月	徳願寺境内に行徳分館開館
43年	5月	八幡本館隣りに新館開館
50年	9月	移動図書館「みどり号」運行
54年	2月	信篤図書館開館、行徳分館を行徳図書館に改称
55年	4月	行徳図書館、移動図書館を本行徳公民館図書室に移転
56年	10月	行徳図書館、行徳支所4・5階に移転して開館
58年	10月	南行徳図書館開館
60年	11月	電算システムを導入し、市内5館をオンラインで結び、システムによる貸出開始
62年	10月	平田図書室開室
平成		
元年	4月	行徳図書館、行徳支所隣に新館として開館
6年	11月	市川市中央図書館開館
12年	10月	蔵書公開を開始
14年	11月	ウェブからの所蔵予約開始
15年	3月	自動車図書館車を圧縮天然ガス（CNG）車に更新
17年	4月	「子どもの読書活動優秀実践図書館」として文部科学大臣表彰を受ける
18年	10月	宅配サービス開始
21年	4月	指定管理者制度を導入し、市川駅南口図書館開館
23年	4月	中期計画を策定
26年	11月	中央図書館開館 20周年記念行事を開催
27年	3月	運営基本計画を策定
28年	4月	赤ちゃんカード発行
	7月	行徳図書館にIC機器導入
	12月	大野公民館図書室蔵書管理のバーコード化
31年	3月	西部公民館図書室蔵書管理のバーコード化

施設概要

図書館名	中央	平田	行徳	信篤	南行徳	市川駅南口
敷地面積	11,012		4,958		410	
建築面積	6,164		674	304	120	
延べ床面積	6,411	256	2,397.66	912.6	364	573.03
建築構造	鉄骨鉄筋コンクリート造・地上4階地下1階	鉄骨鉄筋コンクリート造・地上2階	鉄骨鉄筋コンクリート造・地上5階	鉄骨鉄筋コンクリート造・地上3階	鉄骨鉄筋コンクリート造・地上3階	鉄骨鉄筋コンクリート造・地下2階/地上45階(3階部分)
蔵書冊数(冊)	736,054	40,624	156,600	45,768	42,550	88,030
雑誌(誌)*1	327	35	105	37	37	42
CD(点)	12,855		7,475			
ビデオ(点)	3,723		47			
DVD(点)	1,939		384			1,011
開館時間	火曜日～金曜日 10:00～19:30 土・日曜日・祝 10:00～18:00	火曜日～日曜日 9:30～17:00	火曜日～金曜日 10:00～19:30 土・日曜日・祝 10:00～17:00	火曜日～日曜日 9:30～17:00	火曜日～日曜日 9:30～17:00	火曜日～金曜日 9:30～21:00 土・日曜日・祝 9:30～18:00
閉館日	毎週月曜日及び土・日曜日にかからない月末日・国民の祝日 年末・年始及び蔵書点検期間 ※ 中央・市川駅南口・行徳のみ祝日開館					
閲覧席(席)	358	20	185	33	16	61
駐車場(台)	(共有)99		(共有)69	(共有)20		
利用者端末(台)	(*2)22	1	6	1	1	(*3)7
職員数(女性)*4	33(17)	3(1)	9(4)	3(2)	4(2)	指定管理者制度
司書数(女性)*4	27(17)	1(1)	5(4)	2(2)	2(1)	指定管理者制度
交通手段(最寄駅)	京成曳越駅より 徒歩13分 JR本八幡駅下 総中山駅より 徒歩15分	JR本八幡駅より 徒歩10分 京成菅野駅より 徒歩8分	東西線行徳駅より 徒歩5分	東西線原木中山 駅より徒歩2分	東西線南行徳駅 より徒歩15分	JR市川駅より 徒歩2分

*1 購入雑誌のみ。

*2 Web-OPAC・ITブース等を含む。

*3 外部データベース閲覧3台含む

*4 再任用職員を含む。平成31年4月1日現在

事業概要

(1) 資料の提供

市内に5館1室の施設を配置し、市川市在住・在勤・在学の者に対して、図書・雑誌・新聞・視聴覚資料等多様な資料の提供を行う。各館をオンライン化し、できるだけ均質なサービスの提供に努めるとともに男女共同参画センター情報資料室等の類縁機関との連携や市内各所への返却ポストの配置(平成30年4月現在12箇所)により、利便性の向上に努めている。

(2) 資料収集

「市川市立図書館の蔵書の構築に関する指針」に基づき「市川市図書館分類別収集基準」、各年度の「資料収集計画」という体系

のもとで資料を収集する。選書にあたっては、中央図書館で毎週選書に関する会議を開催し、全館分の最終的な確認を行い、市川市全体で効果的な図書購入をしている。また、新刊購入だけではなく、既刊図書の買い替えや補充、復刊図書の購入などにも留意し、蔵書の適正な維持に配慮している。

①地域行政資料

郷土の歴史を後世に伝えるため、市川市に関する資料を中心に、千葉県内の郷土に関する資料を積極的に収集・提供する。又、市川市民の著作の収集に努める。

②視聴覚資料

CD・ビデオ・DVD等時代に合った記録媒体を提供するよう、幅広い資料収集と保存を行う。

③逐次刊行物資料

最新の情報を得られる速報性を踏まえ、市民の多様な興味・関心に留意し逐次刊行物（新聞・雑誌）の収集・整理・保存を行う。

（3）リクエストサービス

①リクエストサービス

利用者の求める図書が、図書館にない場合、貸出資料の予約や相互貸借、購入により提供するサービスである。

②国・県・市町村図書館との相互協力

リクエストされた資料が、市川市内の図書館に所蔵が確認できない場合、国立国会図書館・県立図書館及び他の市町村図書館等から、資料を取り寄せて提供するサービスである。

平成30年度は、県内市町村図書館への貸出冊数は3,737冊、借用冊数は5,527冊となっている。

（4）自動車図書館サービス

図書館だけでは補いきれない地域の人達や身体に障がいのある方、高齢者等、図書館を利用しにくい市民のために運行している。車は圧縮天然ガスを燃料とする環境対策車。

平成30年度末の蔵書冊数は16,567冊、延べ利用者数は3,774人、貸出点数は、19,767点となっている。

（5）レファレンスサービス

探している資料が見つからなかったり、知りたい「人」や「事柄」についてどんな資料を調べればよいかなど、利用者の調査・相談の手助けをする。寄せられた質問とこれに対する回答の事例はデータベース化して蓄積し、ホームページ上で公開するとともに国立国会図書館のレファレンス協同データベースにも提供している。

平成30年度の実績は63,504件となっている。



（6）学校図書館支援センター事業

学校での「調べ学習」や「読書」を活発に展開させ児童・生徒の「自ら学ぶ力」を養育するために、公共図書館と学校図書館が連携し、児童の「調べ学習」や「読書」を支援している。図書館で学校図書館支援専用資料として約1万1千冊を中央図書館で管理し、通常の図書館資料と併せて提供している。

平成30年度においては学校よりの依頼件数は517件、6,386冊の貸出があり、その他に学級文庫用に4,620冊を提供した。

（7）千葉商科大学付属図書館とのネットワーク事業

市内在住・在勤・在学の市川市立図書館利用者に、中央図書館で紹介状を発行することにより、千葉商科大学付属図書館の利用が認められる。この提携は、より専門的になってきた市民の要求に対応するため、市川市立図書館側が提案し大学側の理解を得て実現した。同大学は以前より公共図書館及び所属大学図書館の紹介があれば閲覧、複写のサービスを行っていたが、利用券の発行があれば貸出サービスも受けられる。

平成30年度の紹介状発行件数は132件。

（8）和洋女子大学メディアセンターとのネットワーク事業

市川市在住・在勤・在学の市立図書館利用者は、和洋女子大学メディアセンター(図書館)所蔵の図書を市立図書館(中央・行徳・信篤・南行徳・市川駅南口・平田)の館内で閲覧することができる。市立図書館に所蔵がない図書が対象で、希望する図書の書誌事項をリクエストカードに記入の上、市立図書館のカウンターで申し込む。閲覧期間は2週間以内である。なお、雑誌・視聴覚資料・貴重書・館内閲覧資料は除く。

平成30年度、和洋女子大学より借用件数は7件(12冊)市川市立図書館よりの貸出件数は4件(4冊)。

（9）公民館図書室

7つの公民館（西部・東部・曾谷・大野・市川・市川駅南・本行徳）に公民館図書室があり、それぞれの地域に密着したサービスを提供している。特に、大野と西部を、市の北東部と北西部の図書館サービス拠点として定めて、バーコードによる蔵書管理とし、図書館システムのデータベースと一元化している。

(10) 市民図書室

4つの小学校（塩焼・稲越・福栄・大柏）に市民図書室があり、それぞれの地域に密着したサービスを提供している。平成12年10月より図書館端末を設置し、図書の貸出・返却・予約の拠点となり、連絡車が週2回巡回している。

(11) 児童サービス

児童サービスは、子どもたちが幼い頃から本に親しむことで、本から様々な興味を見いだし、本の世界の楽しさを知ることができるよう、子どもと子どもをとりまく大人に対してサービスを行う。

(12) ヤングアダルトサービス

中学生・高校生を中心とした世代を、Young Adult（若い大人）としてとらえ、児童書・一般書の枠にとらわれずに中学生・高校生向けの資料を集めた Young Adult コーナーを中央・行徳・信篤・南行徳図書館に設置。中央図書館ではグループで調べ学習等の活動ができる Young Adult Room があり、掲示板を置き、情報交換の場としても利用している。

(13) 障がい者サービス（図書館利用に障がいのある利用者へのサービス）

心身等、図書館を利用する上で何らかの障がいがある方に、それぞれの状況に応じた最も利用しやすいサービスを提供する。

(14) 返却ポストの設置

返却の利便性向上のために市内12ヶ所（市川市役所仮本庁舎・旧八幡市民談話室・情報プラザ・市川公民館・南行徳市民センター・歴史博物館・大野公民館・塩浜市民体育館・千葉商科大学付属図書館・イオン市川妙

典店・中山窓口連絡所・ベルクス市川堀之内店）の図書館外施設に、図書と雑誌が返却できるポストを設置。平成30年度の実績は、約21万冊の返却があった。

(15) 外国人利用者へのサービス

国際化社会に対応した多文化サービスの実現、さらに多文化を知りその背景を理解し共存していくことを目的にしているため、今後ますますその意義と必要性が求められているサービスである。その一環として、平成18年5月、大韓民国ソウル特別市江南区がインターネット上で運営している電子図書館のID1万件の贈呈を受けた。これにあわせて中央図書館に電子図書館閲覧コンピューターを設置した。

平成30年度主な言語別蔵書冊数は、英語7,295冊、中国語3,796冊、韓国語1,644冊その他の言語1,632冊となっている。

(16) リサイクルブック市

図書館の不用図書（除籍資料・寄贈資料のうち、すでに図書館で所蔵しているために受入しないと決定した資料）を有効利用するため市民に提供する。中央・行徳・信篤・平田・南行徳の各図書館で実施した。中央・行徳図書館では、市川図書館友の会の協力のもと実施。

また、中央図書館では、小・中学校図書室、こども館、放課後保育クラブ等の公の施設向けのリサイクルブック市も行っている。

平成30年度中央図書館リサイクルブック市の実績は、一般参加者1,273名、提供冊数11,080冊。



平成30年度統計

(1) 蔵書冊数 (平成30年度)

(単位：冊)

一般書	中央	自動車	平田	行徳	信篤	南行徳	市川駅南口	全館
0総記	11,326	65	345	2,388	350	327	348	15,149
1哲学	22,453	211	730	3,550	1,004	645	713	29,306
2歴史	31,027	323	1,595	9,106	1,688	1,575	3,108	48,422
3社会科学	56,233	454	2,363	15,622	2,478	2,441	1,775	81,366
4自然科学	26,660	384	1,354	6,639	1,596	1,452	1,092	39,177
5技術	20,219	1,685	2,913	8,541	3,011	2,752	5,816	44,937
6産業	8,509	187	693	2,725	713	568	896	14,291
7芸術	35,305	412	2,060	9,305	2,395	1,549	2,915	53,941
8言語	9,720	52	396	1,916	437	329	558	13,408
9文学	51,211	5,810	8,705	29,037	10,092	8,666	7,383	120,904
郷土行政	51,983	0	412	4,021	535	594	462	58,007
参考資料	25,911	0	149	2,118	352	230	404	29,164
外国語資料	13,664	0	0	703	0	0	0	14,367
障害者資料	10,836	240	0	597	0	0	0	11,673
コーナー別資料	266,188	0	4,412	23,554	8,295	6,220	48,015	356,684
一般計	641,245	9,823	26,127	119,822	32,946	27,348	73,485	930,796

(単位：冊)

児童書	中央	自動車	平田	行徳	信篤	南行徳	市川駅南口	全館
0総記	435	30	89	274	177	73	98	1,176
1哲学	499	24	99	217	78	67	64	1,048
2歴史	4,379	95	495	1,674	456	554	461	8,114
3社会科学	4,025	107	469	1,510	382	525	472	7,490
4自然科学	8,599	593	1,252	2,788	1,160	1,366	1,253	17,011
5技術	2,755	285	403	1,154	427	480	589	6,093
6産業	1,605	83	226	563	205	260	238	3,180
7芸術	3,519	389	562	1,420	681	616	803	7,990
8言語	839	21	141	337	132	138	144	1,752
9文学	25,544	1,923	3,909	9,904	3,811	4,876	3,456	53,423
E絵本	36,426	3,045	6,580	15,454	4,965	5,889	6,521	78,880
P紙芝居	1,096	149	246	464	122	176	361	2,614
児童郷土	1,582	0	8	295	79	16	0	1,980
児童参考	760	0	18	146	68	29	85	1,106
児童研究	2,746	0	0	578	79	137	0	3,540
児童計	94,809	6,744	14,497	36,778	12,822	15,202	14,545	195,397

図書計	736,054	16,567	40,624	156,600	45,768	42,550	88,030	1,126,193
-----	---------	--------	--------	---------	--------	--------	--------	-----------

(単位：点)

図書以外	中央	自動車	平田	行徳	信篤	南行徳	市川駅南口	全館
雑誌	40,968	0	1,341	6,049	1,512	1,162	1,248	52,280
ビデオ	3,723	0	0	47	0	0	0	3,770
DVD	1,939	0	0	384	0	0	1,011	3,334
CD	12,855	0	0	7,475	0	0	0	20,330
その他付録等	1,184	0	8	102	3	3	52	1,352
図書以外計	60,669	0	1,349	14,057	1,515	1,165	2,311	81,066

総計	796,723	16,567	41,973	170,657	47,283	43,715	90,341	1,207,259
----	---------	--------	--------	---------	--------	--------	--------	-----------

(2) 分類別貸出冊数 (平成30年度)

(単位:冊)

一般書	中央	自動車	平田	行徳	信篤	南行徳	市川駅南口	全館
0総記	5,121	25	453	4,423	392	485	1,929	12,828
1哲学	25,554	221	1,499	13,589	1,843	2,134	8,424	53,264
2歴史	22,300	512	3,394	29,858	3,698	4,070	24,371	88,203
3社会科学	35,863	390	2,954	29,596	2,799	3,503	11,800	86,905
4自然科学	19,966	392	1,408	13,652	2,006	1,623	6,560	45,607
5技術	17,873	1,564	5,433	35,681	5,357	5,764	29,619	101,291
6産業	5,360	119	510	6,452	718	838	3,712	17,709
7芸術	21,129	193	1,438	13,490	2,728	1,695	11,171	51,844
8言語	14,344	91	507	5,403	593	581	3,883	25,402
9文学	24,003	4,795	11,295	67,454	11,614	11,461	42,052	172,674
郷土行政	3,980	3	144	591	144	122	1,071	6,055
参考資料	688	0	3	68	3	2	23	787
外国語資料	3,436	19	30	897	29	33	385	4,829
障害者資料	6,739	45	18	525	31	28	339	7,725
コーナー別資料	570,226	1,214	17,278	138,725	34,688	22,652	208,346	993,129
一般計	776,582	9,583	46,364	360,404	66,643	54,991	353,685	1,668,252

(単位:冊)

児童書	中央	自動車	平田	行徳	信篤	南行徳	市川駅南口	全館
0総記	944	17	194	552	72	76	429	2,284
1哲学	1,514	23	129	651	97	81	557	3,052
2歴史	5,672	73	249	2,983	280	309	1,616	11,182
3社会科学	6,603	297	300	3,118	194	434	1,549	12,495
4自然科学	17,095	841	1,098	9,934	1,027	1,221	4,859	36,075
5技術	7,960	478	818	5,846	792	1,125	3,280	20,299
6産業	2,543	112	284	1,400	191	314	786	5,630
7芸術	10,776	803	993	6,690	1,071	1,027	4,382	25,742
8言語	1,728	50	166	1,088	107	134	601	3,874
9文学	67,945	3,127	6,383	44,370	5,081	5,378	22,408	154,692
E絵本	201,995	4,097	15,273	104,739	16,411	15,785	61,214	419,514
P紙芝居	6,683	198	651	3,580	232	267	2,336	13,947
児童郷土	799	0	5	107	7	0	13	931
児童参考	80	0	1	11	3	1	5	101
児童研究	796	1	15	280	29	17	140	1,278
児童計	333,133	10,117	26,559	185,349	25,594	26,169	104,175	711,096

図書計	1,109,715	19,700	72,923	545,753	92,237	81,160	457,860	2,379,348
-----	-----------	--------	--------	---------	--------	--------	---------	-----------

(単位:点)

図書以外	中央	自動車	平田	行徳	信篤	南行徳	市川駅南口	全館
雑誌	46,964	43	3,293	24,390	3,784	5,712	11,043	95,229
ビデオ	1,115	0	9	75	3	7	36	1,245
DVD	15,429	0	144	2,859	191	151	4,636	23,410
CD	39,053	0	622	17,185	872	513	3,862	62,107
その他付録等	16,496	24	239	6,342	332	336	30,118	53,887
図書以外計	119,057	67	4,307	50,851	5,182	6,719	49,695	235,878

総計	1,228,772	19,767	77,230	596,604	97,419	87,879	507,555	2,615,226
----	-----------	--------	--------	---------	--------	--------	---------	-----------

(3) 市民図書館統計

図書館名	開室 日数	利用者数		貸出 日数	貸出冊数		受入 冊数	除籍 冊数	蔵書冊数
			一日平均			一日平均			
塩焼市民図書館	147	13,262	90.2	147	25,450	173.1	734	1,608	20,149
稲越市民図書館	144	2,725	18.9	144	8,026	55.7	316	749	15,552
福栄市民図書館	146	9,983	68.4	146	25,984	178.0	543	258	18,847
大柏市民図書館	143	6,929	48.5	143	7,171	50.1	171	576	17,431
計	580	32,899	56.7	580	66,631	114.9	1,764	3,191	71,979

4. 市川市公民館（社会教育課）

〒272-0023 南八幡 1-17-15 南八幡仮設庁舎 2階
TEL 047-320-3343 FAX 047-320-3344

1 公民館運営の基本的な考え方

少子・高齢化、情報化、国際化などの現代的課題解決の必要性和自由時間の増加等が相まって、市民の学習意欲は高まりを見せている。また、そのニーズもますます多様化、高度化を示している。

これら社会情勢の変化に応じて、地域住民の身近な拠点として学習の場と機会の充実を図ると共に学習情報の提供等にも努め、生涯学習の一層の推進に取り組む。

2 具体的な目標

- (1) 施設整備を行い、安全で快適に利用できる施設に努める。
- (2) あらゆる世代が参加しやすい主催講座の企画・実施に努める。
- (3) 生涯学習に関する情報の提供に努める。
- (4) サークルの学習成果の発表の場の提供に努める。

3 公民館講座情報紙（ミーティアムガイド）の発行

公民館主催講座の情報紙として、9月と3月の年2回、公民館主催講座の開催にあわせて発行し、講座内容の紹介および受講生の募集をしている。

新聞折込配布、公共施設・駅スタンド配布、タブロイド版、2色刷り。

4 利用案内

- (1) 開館時間 午前9時～午後9時
- (2) 休館日 毎月の最終月曜日、祝日
(祝日が日曜日の場合は振替休日の日)、年末年始(12月29日～1月3日)



菅野公民館（平成23年4月開館）

5 沿革

- 昭和27年5月 市川市公民館が開館
(現在の中央公民館)
- 昭和49年11月 西部公民館が開館
市川市公民館を中央公民館に改称
- 昭和53年9月 行徳公民館が開館
- 昭和53年10月 鬼高公民館が開館
- 昭和54年4月 東部公民館が開館
- 昭和55年3月 柏井公民館が開館
- 昭和55年4月 本行徳公民館が開館
- 昭和56年5月 市川駅南公民館が開館
- 昭和56年9月 大野公民館が開館
- 昭和57年4月 信篤公民館が開館
- 昭和58年5月 曾谷公民館が開館
- 昭和62年5月 若宮公民館が開館
- 平成元年4月 「公民館だより」発行
(翌年「カルチャーガイド」に改称)
- 平成元年5月 幸公民館が開館
- 平成2年5月 南行徳公民館が開館
- 平成3年5月 市川公民館が開館
- 平成7年10月 一部公民館にて月曜開館の試行開始
- 平成10年9月 公募により公民館の愛称を「ミーティアム」に決定
- 平成11年4月 公民館組織改正
(地域別に4ブロック制に)
- 平成12年4月 公民館使用料の単価を、午前・午後・夜の3区分から、1時間単位に変更
- 平成12年5月 インターネットによる公民館予約システム開始
- 平成13年3月 「ミーティアムガイド」(「カルチャーガイド」から改称)を発行
- 平成13年4月 公民館組織改正
(公民館センターの設置)
- 平成14年4月 行徳公民館に新館を増設
- 平成16年6月 中央公民館菅野分館が開館
- 平成17年4月 全館月曜開館の実施
- 平成18年4月 夜間を管理委託から直営に
- 平成23年4月 菅野公民館が開館
- 平成25年4月 公民館組織改正
(公民館センターから社会教育課に変更)

第4章 教育機関

- 平成27年10月 公民館使用料に、市民等以外の料金を新設
- 平成28年4月 施設使用料統一減免基準施行開始
- 平成30年4月 一部のレクリエーションホール等で面積2分の1利用のサービス導入

6 平成30年度の状況

公民館名	総利用者数 (人)	主催講座 (講座数)	平成30年度開催講座の例
中央	37,696	16	史跡からみる「昔々の市川」 花咲く書道 めざせ、のぼせ、健康年齢 フルーツカッティング
鬼高	23,877	16	初めての写経 心を伝える朗読の魅力 初めての男のピラティス 家族で新聞を作ろう
信篤	73,836	21	大豆から作る味噌づくり 風合いを楽しむ一閑張り 市川の海で干潟遊び 筑前琵琶弾き語りコンサート
東部	59,779	17	苔玉・ミニ盆栽・寄せ植え 国立国会図書館へ行こう パパと作るパリの家庭料理 和太鼓コンサート
柏井	25,977	15	老後のライフプラン 子ども寺子屋 陶で楽しむ 日蓮宗不受不施派と房総
大野	79,507	16	身体と脳のストレッチ 子供科学工作 室礼と和のおもてなし 親子で英語 de 遊ぼう
若宮	28,158	14	市川案内人に聞く中山の歴史 カラフィット セカンドライフの基礎知識 キッズ「生き物の時間」
市川	90,878	18	メンズクッキング しめ縄を作ってお正月に飾ろう サマージャズコンサート 救急措置と心肺蘇生法
西部	81,961	14	いちかわ見聞録鉄道編 毎日の暮らしにアロマを 初めての手話 親子で染める秋色羊毛としぼり染め
市川駅南	53,264	18	陶芸に挑戦 夏休みだよ！未来のシェフ集合 生き残る知恵～大震災に備えて 暮らしのしきたり
曾谷	108,214	21	弓道講座 夏休みハッピーデー 空手エクササイズ 卓球を楽しみましょう
行徳	150,935	28	津軽伝統工芸こぎん刺し 声に出すシェイクスピア 健康は歯から 古写真絵はがきにみる市川市域
本行徳	33,899	18	絵本といっしょに幸せの時間 想いを伝える筆文字 子ども書初め教室 ツボと呼吸と笑いヨガ
幸	37,681	14	終活のすすめ 手縫いで簡単、着物リメイク 加曾利貝塚を学ぶ 一から学ぶ介護講座
南行徳	93,102	20	わくわく科学発見 プロに学ぶ魚のさばき方 人生100年時代のマネープラン 親子で運動あそび
菅野	54,877	21	住まいの防犯防災 家族と一緒に広場であそぼっ！ 50歳からのゆったり健康フラ エコで健康布ぞうり
合計	1,033,641	287	

5. 市川考古博物館

〒272-0837 市川市堀之内2-26-1
TEL 047-373-2202 FAX 047-373-2205



▲博物館全景



●博物館案内図

特色

市川市は、原始・古代の遺跡が多く、堀之内貝塚・曾谷貝塚・姥山貝塚・下総国分僧寺跡・下総国分尼寺跡など、国の史跡に指定されている遺跡を有している。これらの遺跡から出土した考古資料によって、原始・古代の市川を中心とした地域の歴史の歩みを体系的に理解し、学べる施設である。

生涯学習の一翼を担う多彩な講座、体験学習、見学会などの実施によって、市川の歴史に対する認識を高め、郷土に対する愛着を深めてもらうよう努めている。

沿革

- 昭和47年11月 市立市川博物館として史跡堀之内貝塚の隣地に開館。
- 50年2月 登録博物館となる。登録第7号。
- 57年11月 市立市川歴史博物館の開館に伴い、館名を市立市川考古博物館に改称。
- 60年3月 常設展展示替えによる新装開館。

施設

建物構造 鉄筋コンクリート造2階建（一部地階）
敷地面積 7,253.00㎡（うち駐車場 990㎡）
建築面積 931.80㎡
延床面積 1,513.68㎡

〔主な施設〕

ホール展示室 90.9㎡
常設展示室 387.2㎡

学習室 28.2㎡
収蔵室 346.5㎡

交通機関

- 北総線「北国分駅」から徒歩10分
- JR総武線「市川駅」・京成線「市川真間駅」から京成バス「北国分駅」行き、「松戸駅（国分経由）」行き、「聖徳学園」行きで、「堀之内3丁目」バス停下車徒歩5分、「博物館入口」バス停下車徒歩10分。

収蔵資料

市川市史編さん事業や博物館・教育委員会（一部）による発掘資料と、個人から寄贈された考古資料などを収蔵している。

- (1)先土器（旧石器）時代関係
今島田遺跡、殿台遺跡
- (2)縄文時代関係
杉ノ木台貝塚、美濃輪台貝塚、上台貝塚、向台貝塚、今島田貝塚、姥山貝塚、曾谷貝塚、堀之内貝塚等
- (3)弥生時代関係
須和田遺跡、木戸口遺跡、後畑遺跡、国府台遺跡等
- (4)古墳時代関係
須和田遺跡、今島田遺跡、鬼高遺跡、杉ノ木台遺跡、法皇塚古墳等
- (5)奈良・平安時代関係
下総国府跡、下総国分僧寺跡、下総国分尼寺跡、須和田遺跡、国分遺跡等

事業

1 常設展示

過去10数万年間の自然環境の変化を導入とし、最初に住民がやってきてから律令社会が成立・崩壊していくまでの原始・古代の歴史を、市川を中心に展示している。

<展示内容>

○前室 環境の変化

過去10数万年の間でも自然環境は大きく変化していることを、貝化石、クジラ化石、サンゴ化石、地層模型などで紹介している。

○第1室 最初の住民<先土器時代>

原人、旧人、新人の胸像模型と、1万年以上も前の寒冷な時代に、主として狩りで暮らしていた人々の石器を展示している。

○第2室 貝塚の形成<縄文時代>

土器を使用した縄文人は、狩猟、漁労、植物採集で計画的に生活していたことを、豊富な貝塚の出土資料やジオラマにより複元。埋葬法、縄文人骨とその特徴などを実物や写真で紹介している。

○第3室 稲作文化の伝来<弥生時代>

朝鮮半島から伝来した稲作等の農耕とその文化が人々の暮らしを大きく変え、市川市に普及した様子を展示している。

○第4室 古墳の出現<古墳時代>

大和王権が各地を統一しようとした時代で、市川には6世紀半ばの法皇塚古墳がある。その出土品、当時の土器の土師器と須恵器、鉄やカマドの普及を紹介している。

○第5室 律令の社会<奈良・平安時代>

7世紀後半以降、律令を基にした中央集権国家が成立する。市川には下総国の政治の中心である国府と官立寺院の国分寺が置かれた。仏像、瓦、墨書土器、役人の服、伽藍模型や庶民にかかわる遺物を紹介している。

2 展示

ホール小展示

- ・「市川出土の縄文土器」H30.4/1～11/30
- ・「縄文の海を泳いだコクシラ」H30.4/1～6/10
- ・「組紐古技法『クテ打』試作展」
H30.6/23～R1.6/9

速報展

- ・「外環自動車道の遺跡
第8回『雷下遺跡』」H31.1/5～R1.9/8

3 講座・説明会・体験学習・見学会など

行事名		内容
講座・講演会等	○考古学教室	・『続日本紀』を読む全10回 ・『常陸国風土記』を読む全1回 ・『日本霊異記』を読む全11回 ・「聖武天皇と国分寺」 ・「過去1万年間の市川の植生と人間活動」
	○講演会	
体験・見学会・養成	○体験学習	・土器をつくろう 全5回 ・火おこし 5回 ・勾玉づくり 4回 ・組紐づくり 27回
	○サマーフェスタ	・組紐づくり ほか
	○小学校体験学習	・20校 1,897人
	○出前授業	・7校 789人
	○第19回縄文体験フェスティバル	・縄文の造形・火おこし・勾玉づくりなどを体験
養成	○ボランティア養成講座	・火おこし指導員の養成全4回 ・縄文学習指導員の養成全2回 ・組紐指導員の養成 全3回

4 協力

曾谷縄文まつり、真間史蹟まつり、市史講演会、市川市史編さん事業

5 学生・教員研修

中学生職場体験9校28人、学芸員館務実習3大学4人、体験学習教職員研修会2回54人

利用

1 利用案内

- ・開館時間 9時～16時30分
- ・休館日 月曜、月曜が祝日の翌日
年末年始（12月28日～1月4日）

2 入館料

- ・常設展・企画展は無料

3 利用状況(表1参照)

表1 (平成30年度) 開館日数302日

入館者			外部サービス利用者			合計		
18歳未満	18歳以上	計	18歳未満	18歳以上	計	18歳未満	18歳以上	総計
7,661	12,703	20,364	6,228	1,532	7,760	13,889	14,235	28,124

6. 市川歴史博物館

〒272-0837 市川市堀之内2-27-1

TEL 047-373-6351 FAX 047-372-5770



第4室 台地の人々の生活のコーナー

特 色

原始・古代担当の考古博物館の後を受けて、市川における中世以降の歴史の流れを概観し、海・川・台地という地形を活かしたかつての市域の生活・生業を復元展示している。

本市の歴史民俗資料の滅失・散逸を防ぐため、これらを収集・保管・展示及び調査研究をして保護活用を図り、市民の郷土に対する認識と愛情が深まるよう努めている。

沿革

昭和57年11月 市立市川歴史博物館として開館。

12月 登録博物館となる登録17号。

施設

建物構造 鉄筋コンクリート造2階建(塔屋付)

敷地面積 3,388.04 m² 建築面積 1,199.16 m²

延床面積 2,001.57 m²

〔主な施設〕

常設展示室 430 m² 特別展示室 249 m²

講堂 104 m² 収蔵室 234 m²

交通機関

- 北総線「北国分駅」から徒歩8分
- JR総武線「市川駅」から京成バス「北国分駅」行き、「松戸駅(国分経由)」行き・「聖徳学園」行きで、「博物館入口」バス下車徒歩10分、ほか。

案内図は、2ページ前の「考古博物館をご参照ください。

収蔵資料

市川市史編さん事業や博物館・教育委員会(一部)による収集資料と、個人から寄贈された歴史・民俗資料を収蔵している。

(1)中世(鎌倉～戦国時代)関係

板碑、日蓮関係資料(複製)等

(2)近世(江戸時代)関係

高札、古文書、塩製造用具等

(3)近現代(明治～昭和時代)関係

古写真、戦争関係資料、学校関係資料等

(4)民俗関係

生活用具、農具、漁具、職人関係資料等

事業

1 常設展示

○前室

当館設置の趣旨及び、案内図を配して展示し、室内の配置と順路を示す。また、市内の特徴のある写真や鳥瞰図を展示し、景観的イメージを印象づけて展示室へ導入するとともに、新着収蔵資料等を紹介する。

○第1室 中世以降の市川

中世以降の市川の歴史の主要事項を理解してもらい、各ルームの年代的位置づけを行う場として、パネルと資料で紹介する。
展示資料：立正安国論(複製)、空襲日誌等

○第2室 海辺の人々の生活

かつては交通の要所で、関東地方最大の塩の生産地でもあり、近代以降は海苔の養殖が盛んであった、市南部の行徳、南行徳の地域は、住宅地として急激な変貌を遂げている。ここでは、海辺の人々の生活を再現し、現在との関わりについて考える場とする。

展示資料：製塩用具、のり抄き用具等

○第3室 水路と陸路

市川市の西側を流れる江戸川は、水路として交通や物資の運搬に重要な役割を果たしてきた。

一方、市内の陸路は、参勤交代や成田参詣への道などがあり、これらが江戸川と交わる

ところに、市川関所と行徳新河岸があった。

ここでは、江戸時代を中心に示し、床面には市域の水路と陸路の概略を紹介する。

展示資料：往来手形（複製）、笹屋看板等

○第4室 台地の人々の生活

市の北部地域は下総台地の一画で、小さな谷津が入り込んだ地形をなしており、人々は谷津の泥深い田を耕して生活してきた。ここでは、民家の一部を移築復元して、土間を中心とした生活を再現し、さらに農耕と年中行事を組み合わせる事により、一年を周期とする生活を紹介します。

展示資料：稲作用具、辻切大蛇等

○第5室 郷土コーナー

郷土市川に関係した人物を「人で綴る市川の歴史」と題してまとめ紹介する。また市内の史跡や文化財についても紹介し、新着資料や季節の民俗資料を展示する。

展示資料：坪井玄道関係資料

2 展示

企画展

「発見・体験・昔の暮らし」

H30. 11/3～H31. 2/17

ロビー展示

「本山桂川展」

H30. 6/2～9/6

「館務実習展」

H30. 9/15～12/27

季節の展示 春、冬、春

H30. 4/1～5/13、H31. 1/20～2/19、

H31. 3/2～31

3 講座・説明会・体験学習など（表1参照）

4 協力

西部公民館他3館、市教科書副読本作成、市川市史編さん事業

5 研修

市内小学校教員研修2人、中学生職場体験7校26人、学芸員館務実習3大学4人

利 用

1 利用案内

- ・開館時間 9時～16時30分
- ・休館日 月曜、月曜が祝日の翌日
年末年始（12月28日～1月4日）

2 入館料

- ・常設展・企画展は無料。

3 利用状況（表2参照）

表 1

行 事 名		内 容	
講 座 ・ 講 演 会	○近代史講座Ⅰ	大柏村の近代文書を読む	9回
	○民俗学講座	市川市域の民俗について	4回
	○歴史カレッジ	市域の歴史と民俗	1回
体 験 ・ 養 成	○小学校体験学習	昔の暮らし体験（出前型）	8回
	○昔遊び体験	昔の暮らし体験（来館型） 紋切り、紙芝居など毎週土日七夕飾り体験1回、正月飾り作り1回、和綴じ本作り1回	19回
	○子ども歴史講座	歴史地図づくり全2回、昔の洗濯体験1回、	
	○博物館サマーフェスタ	水鉄砲作り	
	○縄文体験フェスティバル	昔遊び	
	○ボランティア講習会	和綴じ本作り等指導員養成3回 昔のあそび指導員養成12回	

表 2 （平成30年度）開館日数 302日

入 館 者			外部サービス利用者			合 計		
18歳未満	18歳以上	計	18歳未満	18歳以上	計	18歳未満	18歳以上	総計
8,958	15,334	24,292	795	202	997	9,753	15,536	25,289

7. 市川自然博物館

〒272-0801 市川市大町284番地
TEL 047-339-0477 FAX 047-339-1210



特色

市川市は、北部の台地と南部の低地、江戸川と東京湾などの自然環境に恵まれているが、現在は著しく都市化が進んでいる。市川の自然は都市化の中でかろうじて残されてきた自然と、市街地の自然によって特徴づけられる。

市川自然博物館では、こうした「市川の自然」を対象として、地域の自然環境や動植物について記録し後世に伝えるとともに、身近な自然環境や動植物とのつきあいかたを広く市民に伝え、市川市の自然を再発見することを博物館の使命としている。

一般に博物館には、資料収集や保存、調査や研究、教育普及や展示等さまざまな機能がある。当館では、資料収集や調査、研究等により得られた成果を生かした教育普及及び展示活動に主眼をおいている。

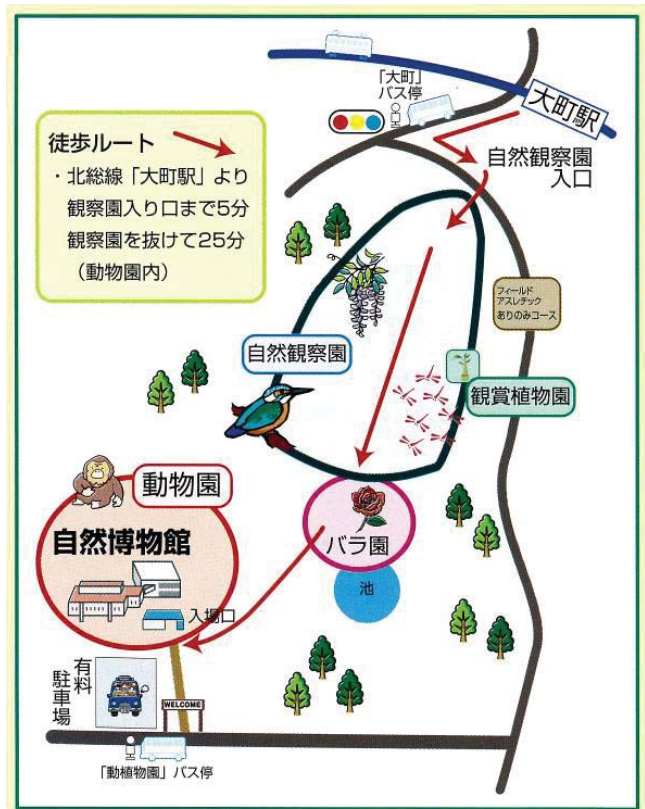
沿革

- 平成元年10月24日 開館
- 開館記念特別展「市川の植物」
- 平成2年度 企画展「大町自然観察園の自然」
- 平成3年1月10日 千葉県博物館原簿に登録
- 平成3年度 企画展「市川の鳥」
- 平成4年度 企画展「江戸川放水路の自然」
- 平成6年度 企画展「市川のさかな」
- 平成9年度 企画展「柏井雑木林の自然」
- 平成12年度 企画展「市川市内の絶滅危惧種」
- 平成15年度 企画展「長田谷津（大町自然観察園）」
- 平成18年度 企画展「いちかわの動植物 基本ブック」
- 平成21年度 企画展「長田谷津（大町公園自然観察園）いきもの暦」
- 平成24年度 企画展「いきものの成長」
- 平成27年度 企画展「いきものの体」
- 平成30年度 企画展「動物のなかまわけ」及び「堀之内地区一帯の土地利用の変遷とかつての自然景観」

施設

建物構造	鉄筋コンクリート造 地下1階、地上2階、塔屋付
敷地面積	2,994.0㎡
建築面積	952.8㎡
延床面積	2,052.3㎡
〔主な施設〕	
常設展示室	459.2㎡
特別展示室	111.0㎡
収蔵庫	149.2㎡

博物館案内地図



交通案内

JR武蔵野線市川大野駅より、動植物園行き京成バスにて終点下車（土日休日のみ運行）、大町駅行き「駒形」下車徒歩15分（毎日運行）。

収蔵資料

市川市内の自然環境、動植物を主な対象として資料収集し、収蔵している。

種目	品目
標本資料	植物 さく葉標本
	植物 藻類さく葉標本
	鳥類 剥製標本
	鳥類 骨格標本
	鳥類 古巣標本
	鳥類 卵標本
	鳥類 付随標本
	哺乳類 剥製標本
	哺乳類 骨格標本
	哺乳類 付随標本
	魚類 液浸標本
	昆虫 乾燥標本
	昆虫 古巣標本
	昆虫 付随標本
	貝類 貝殻標本
	貝類 液浸標本
	甲殻類 乾燥標本
	甲殻類 付随標本
	地学 遺骸・化石標本
	地学 土壌標本
地学 岩石鉱物標本	
その他 人工物など	
映像資料	写真 デジタル画像
	写真 35 ^{ミリ} ポジ原版
	写真 6×7 ^{センチ} ポジ原版
	写真 35 ^{ミリ} ネガ原版
	写真 プリント
	映画 35 ^{ミリ}

常設展示

「市川の自然」をメインテーマとして、次の4つの大きなテーマで博物館資料を展示する。

また、実際に様々な生き物を飼育し展示するコーナーで展示を構成している。

○第1テーマ「市川のおいたち」

市川の大地のなりたちと人間の影響による自然の変化について紹介している。

- ・ひろがる市街地
- ・市川の大地

○第2テーマ「残された市川の自然」

都市化が進むなかで、残された林や干潟の自然について紹介している。

- ・市川の本
- ・市川の海辺

○第3テーマ「都市化した市川の自然」

都市化が進み、おおぜいの人々がくらす市街地でいきいきと生活する身近な生き物について紹介している。

- ・帰化植物
- ・都市鳥
- ・身近な昆虫

○第4テーマ「湧水の自然」

台地と低地からなる市川の地形によって生み出され、かつては市川のいたるところにあった湧水の自然について紹介している。

- ・湧水のある大町自然観察園

○飼育コーナー

身近な生き物など、年間を通じて種類を入れ替えて飼育し展示している。

教育普及活動

博物館外での活動として、隣接する大町公園自然観察園（長田谷津）や市内各地での自然体験学習を主催するほか、学校や市民団体などの自然体験学習を積極的に支援している。

行事名	内容
おやこ自然観察会	親子を対象にした自然観察園での観察会
季節を感じる散策会	市内の自然豊かな場所を巡り季節の話題を観察
長田谷津散策会	自然観察園（長田谷津）の四季折々を楽しむ
野草名札付け	自然観察園で学芸員の指導により野草に名札をつけるボランティア活動
長田谷津環境整備	自然観察園で学芸員と共に環境整備作業を行うボランティア活動
学校や市民団体等への学芸員派遣	要請により学芸員を派遣する外部支援活動
少年自然の家でのグリーンスクールへの講師派遣	小学生の宿泊学習に伴う自然体験学習の支援
教員の研修受入れ	小中学校教員の研修支援

利用

- 開館時間 午前9時30分～午後4時30分（入館は4時まで）

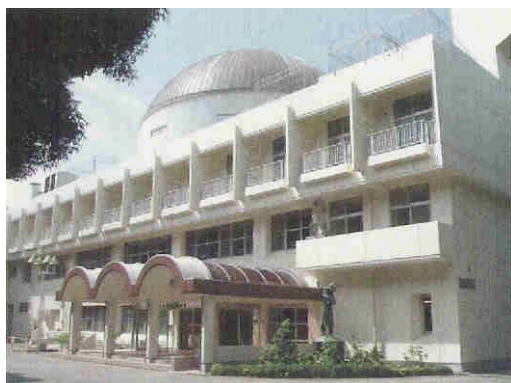
- 休館日 毎週月曜日（ただし月曜日が休日の場合は翌日）及び年末年始

- 入館料 無料

・利用状況（平成30年度） 開館日数 304日

	18歳未満	18歳以上	計
入館者	55,724	76,472	132,196
外部サービス利用者	4,442	995	5,437
	(大学生等を含む)		
合計	60,166	77,467	137,633

8. 市川市少年自然の家	〒272-0801 市川市大町 280-4 TEL 047-337-0533 FAX 047-337-0534
---------------------	--



- 引率者用 2室 定員 10人
- ・研修室
 - 第1研修室 1室 定員 80人
 - 第2研修室 1室 定員 50人
 - 和室研修室 1室 定員 40人
- ・視聴覚室 1室 定員 50人
- ・プラネタリウム室 1室 定員 217人
- ・体育室 縦25m 横15m
- ・食堂 1室 最大204席
- ・その他
 - 浴室、事務室、保健室他
 - 付帯設備 集いの広場 2,475㎡
 - 野外炊事場

特 色

市川市少年自然の家は、大町レクリエーションゾーン内にあり、動物園・観賞植物園・バラ園・自然観察園に隣接した、自然豊かなところに立地している。

設立主旨：児童・生徒を自然に親しませ、自然の中での集団宿泊生活や野外活動を通じて、情操や社会性を豊かにするとともに、心身を鍛練し健全な児童・生徒の育成を図る。

設備：宿泊室・体育室・研修室・集いの広場（キャンプファイヤー場、野外炊事場、トイレ）プラネタリウム室

浴 草

- 昭和57年7月 開所
- 8月 プラネタリウム一般公開開始
- 昭和62年 5周年記念式典
- 昭和63年 野外活動倉庫建設
- 平成5年 10周年フェスティバル実施
- 18年9月 改修工事開始
- 19年7月 リニューアルオープン
- 23年4月 祝日開所開始

施 設（改修後）

- (1) 施設案内
 - 敷地面積 10,513㎡
 - 延床面積 3,730.79㎡（建築面積1,209㎡）
 - 建築様式 鉄筋コンクリート造4階建て
 - 建物内訳
 - ・宿泊室
 - 児童・生徒用 18室 定員 180人
 - バリアフリー対応型 5室 定員 20人

(2) 交通案内

- ・北総開発鉄道松飛台駅 徒歩15分
- ・JR武蔵野線市川大野駅 徒歩30分
- または、市川大野駅から京成バス「大町駅行」乗車、「大町公民館」下車 徒歩5分・・・乗車時間 約10分
- ・JR総武線本八幡駅北口から京成バス「大町駅行」乗車、「大町公民館」下車 徒歩5分・・・乗車時間 約35分

(3) 近隣地図



利 用

- (1) 利用できる人
 - ・少年及び少年を主たる構成員とする団体並びにこれらの引率者
 - ・社会教育に係る学習、文化活動その他の生涯学習の諸活動を行うもので、教育委員会が認めるもの

(2) 宿泊利用に関わる経費 (H31. 4. 1 現在)

・ 宿泊施設使用料 (税抜)

市内の方	中学生以下	無料
	高校生以上	500 円
市外の方	高校生以下	2, 250 円
	大学生以上	3, 000 円

・ シーツ、枕カバー洗濯代 (税込)

1 人 194 円

・ 食事代 (税込)

朝食・昼食 560 円～580 円

夕食 580 円～790 円

《プラネタリウム公開》

◎ 投影開始時刻

毎週土・日・祝日 (元旦除く) 午後 1:30 分

(7・8 月は毎週日曜日・祝日)

25 名以上の団体は、予約により受付

※ 投影時間は、約 1 時間

・ プラネタリウム見学科 (税抜)

	個人	団体
市内の方	150 円	120 円
市外の方	300 円	240 円

◎ 休所日

月曜日 (祝日の場合はその後の平日)

年末・年始 (12 月 29 日～1 月 3 日)

★ 利用状況 (平成 30 年度利用者)

開所日数 308 日 (単位: 団体、人)

区分		団体数	人数		
宿泊利用	市内	幼小中高・特別支援学校	66	4, 321	
		青少年団体	45	1, 900	
		その他	19	518	
	市外	学校・青少年団体他	47	1, 541	
	小計 A		177	8, 280	
プラネタリウム見学	有料	公開日	市内	1	838
			市外	0	1, 161
	団体	市内	1	29	
		市外	0	0	
	無料	小中高・特別支援学校他	0	0	
		その他 (減免団体)	14	957	
		宿泊団体 D	74	3, 929	
小計 B		90	6, 914		
日帰り利用	プラネタリウム見学なし C		25	2, 494	
	プラネタリウム見学あり		16	728	
	小計		41	3, 222	
合計 (A+B+C-D)		218	13, 759		

★ 主催・共催事業 (平成 30 年度実績)

月	事業名
5	バラまつり
6	チャレンジャー・スクール① プラネタリウムコンサート①
7	ザ・チャレンジ! 自由研究、チャレンジャー・スクール②
8	
9	親子お月見の会
10	親子宿泊体験
11	大町レクリエーションゾーン秋のフェスティバル、チャレンジャー・スクール③
12	プラネタリウムコンサート②
1	チャレンジャー・スクール④、親子冬の天体観望会①
2	親子で火を囲もう、親子冬の天体観望会②
3	竹細工工房、チャレンジャー・スクール⑤